金融市場型特別勘定　運用状況（2009年12月末現在）

運用方針

■主に国内の公社債および短期金融商品に分散投資することによって、中長期的に安定した投資成果を目指します。

■NOMURA－BPI（総合短期）を上回る投資成果を目指します。

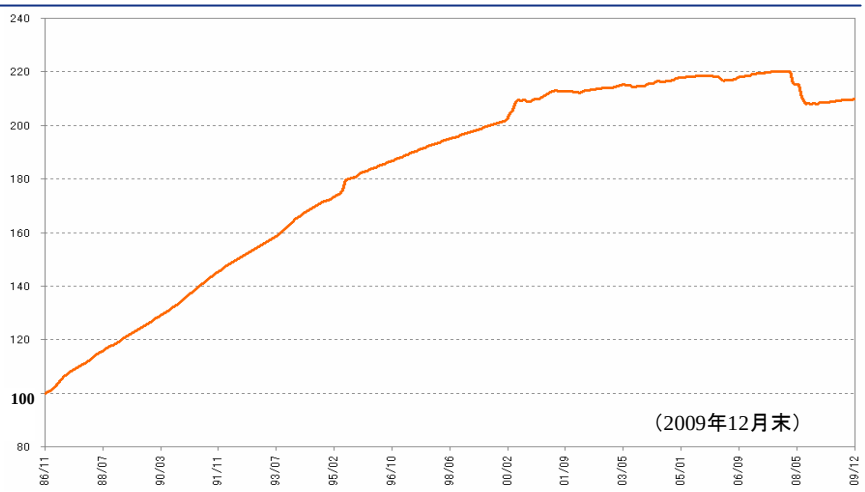
■運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
209.85006077	+0.07%	+0.16%	+0.33%	+0.62%	▲4.03%	▲3.63%	+109.85%

（注）ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移（運用開始日：1986年12月1日）



資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	8,994,649	99.5%
現預金・その他	41,336	0.5%
合計	9,035,985	100.0%

運用状況

2009年12月の国内債券市場は、NOMURA-BPIで0.12%の上昇となりました。日銀は追加の金融緩和策を決定、政府は7.2兆円規模の緊急経済対策を閣議決定しました。デフレーションが懸念される一方、足元の経済指標は改善がみられたことから強弱感が対立、10年国債利回りは、1.2%台前半から1.3%前半のレンジ内での動きとなりました。期間の短い債券の利回りは低下（価格は上昇）しました。このような市場環境の中、当特別勘定は0.07%上昇しました。

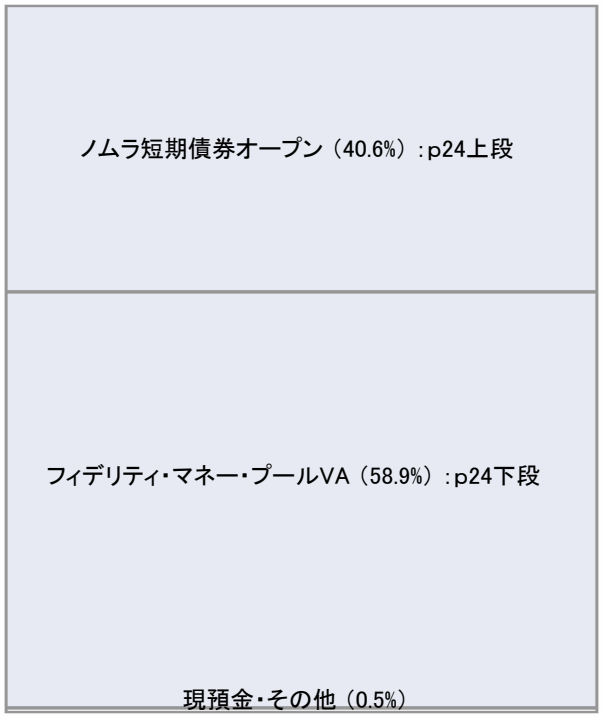
現在、「ノムラ短期債券オープン」および「フィデリティ・マネー・プールVA」に投資しています。

12月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ポートフォリオの状況

［組入れ投資信託（投資比率）］



（注）「p24上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2／27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。